

車いすテニス新たな交流

松山で大会 立位選手とペア

車いすテニスの普及や選手強化を図ろうと「えひめパラワック杯」が23、24の両日、松山市上野町の県総合運動公園であった。24日は立位と車いすでペアを組むニューミックススタブルスを通じ、県内外のパラスリートと、実業団選手や高校テニス部員が交流を深めた。

県車いすテニス協会主催。NPO法人パラワック(松山市)が呼びかけ、2日間でパラアスリートと伊予銀行テニス部や日本女子

テニス連盟県支部などを含む29人が出場した。ニューミックススタブルスには、23日に行われた車いすテニスシングルス優勝の河野直史さん(ロイヤリ

ティマーケティング)と準優勝の清水克起さん(ベクタージャパ

ン)も出場。選手はコートいっぱいに鋭いボールを打ち「ナイ

スボール」とたたえ

河野さんは「立位のボールは足で踏ん張る分、スピン量も多くパワーがある。刺激になった」と笑顔を見せた。松山学院高校2年の上田史都さん(16)は「自分はバックハンドで両手を使うが、車いすの選手は片手でコースを打ち分けていてすごかった」とうなづいていた。

(山口暖乃)

読もう!



ワイドえひめ